



瀧本 孝一 議員 (遠野令和会) 一問一答方式

# ヤングケアラーの実態把握と周知は

## 教育長 該当すると思われる案件は1件と認識

問 令和2年度のヤングケアラーに関する国の調査結果の認識や感想は。

答(教育長) この結果を、仮に本市の生徒数に置き換えた場合、中学2年生の約200人の5.7%であれば11人がヤングケアラーということになり、驚きとともに憂慮したところである。

問 市内の中学校や高校への当該調査はあったのか。

答(教育長) 過日確認したところ、調査対象とはなっていないという回答だった。

問 市内にヤングケアラーと思われるような事例の有無は。

答(教育長) 7月25日にオープンする「こども本の森」を視察し、整備進捗状況を調査した。市の担当者から、施設の運営体制、運営資金の状況、ロゴマーク、7人のキャラクターとその愛称募集などの説明を受けた。

# 学んで 行動する 議会へ

## 市政調査会

調査日 令和3年5月21日  
参加議員 18名



## 遠野市議会ICT推進計画について

令和元年12月に設置された、タブレット導入等検討特別委員会では、  
(1) 市民への正確な伝達により、議会への関心の向上を図る。  
(2) 効率的で迅速な議会運営を図る。  
(3) 調査研究の迅速化と深化を図る。

(4) 危機管理体制を強化する。  
の4点を基本的考え方とした「遠野市議会ICT推進計画」を作成した。  
特別委員会から、計画書の詳細内容などの説明を受けた。  
各議員からは議会スペースのWi-Fi環境整備の充実、オンライン会議を開催するた

答(教育長) 遠野市要保護児童対策協議会は、本調査にヤングケアラーと思われるケースは1件と回答している。

問 学校現場での早期発見の取り組みの必要性和、周知啓発は。

答(教育長) 朝の健康観察、授業や部活動での日常観察等で児童生徒の変化やサインを見落とさないよう、日常的・計画的



【厚生労働省・文部科学省の実態調査で、中学2年・高校2年の20人に1人がヤングケアラーと推察される結果となった】

に取り組んでいる。ヤングケアラーと思われる子ども達の人権は損なわれた状態と考えられることから、関係部局との連携を図り、周知・啓発を進めたい。

※ヤングケアラーとは 家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことをいいます。

問 2025年には5人に1人が認知症になるといわれているが、市ハートフルプラン2021に掲げる認知症にやさしいまちづくりの推進は。

答(市長) 認知症の方が徘徊等で事件・事故等に巻き込まれた場合、本人や家族に代わって自治体が損害賠償をする保険救済制度を導入する考えは。

問 認知症の方が徘徊等で事件・事故等に巻き込まれた場合、本人や家族に代わって自治体が損害賠償をする保険救済制度を導入する考えは。



「 ？」

## 教育民生常任委員会

調査日 令和3年5月11日  
所属議員 菊池 美也、菊池 浩士、佐々木 僚平、萩野 幸弘、菊池 巳喜男、浅沼 幸雄

こども本の森遠野について考える懇談会  
**ワールド・カフェ**  
みんなで考える「こども本の森」の耕し方  
子どもたちの創造力・想像力を育む施設であり続けるために大切なことは何か。笑い声が遠野の里に響くことを思い描き、一人ひとりが力を出し合うために...



ファシリテーターが手を挙げたら、手を挙げ会話を中断します。

参加者からは「自分で何ができたのか振り返ることができた」こ

のような機会がまたあればいい」などの好評な感想をいただいた。「受け手」「支え手」という意識を超える能動的な発想の醸成の一助になれば嬉しい。

継続したい。テーマや各라운드의時間設定の工夫、小中高生や老人クラブ等の多様な年代からも参加を募るなど、次回開催に向け協議をすすめたい。